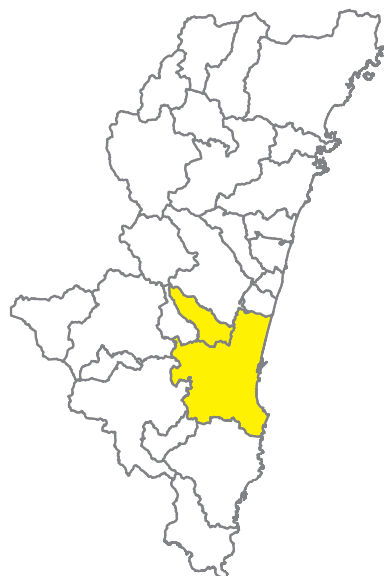


J A 宮崎中央は、太平洋にそそぐ宮崎の代表河川大淀川の下流域に広がる宮崎平野をとりまく1市1町、県庁所在地で人口約40万の中核都市宮崎市と国富町からなります。観光資源として、プロスポーツチームのキャンプ、冬の風物詩「大根やぐら」もよく知られています。

J A 宮崎中央管内の農業は、冬でも温暖な気候と日本一長い日照時間を活かし、施設作物はキュウリ・ピーマン・トマト・アールスメロン、黒川カボチャ等の野菜、日向夏・完熟マンゴー・完熟きんかん等の果樹、コショウラン・トルコキキョウ等の花卉等の施設園芸が多く、超早場米のコシヒカリやお茶などの特産物もあります。畜産にも力を入れており宮崎中央市場の子牛平均価格はトップクラス。こうしてJ A 宮崎中央は、地域の特性を生かした「J A みやざき中央ブランド」づくりに力を入れています。



部長 岩切 孝

宮崎県農青協60周年にあたり、今までの青年部を支えてくださった諸先輩の皆様並びに関係者の皆様に感謝申し上げます。

J A 宮崎中央青年部は、合併して20年が経過し、宮崎市内の5支店と国富町を合わせた6支店423名にて活動を行っております。6支店での活動の他に、食育活動を積極的に取り組んでおり、ここ数年は「お米学習教室」「農作業体験」を実施し子供たちまたは、保護者を対象に食料や農業の大切さを伝えています。

現在、活性化委員会を設置し、本店青年部副部長を委員長に選任し、品目の枠にとらわれない技術研修会や中央全体での交流会を企画し、支店毎の視察や講演会に対する予算を計画し、青年部の活性化を行っています。この他、パートナー確保委員会も設置し、本店青年部副部長を委員長に選任し独身盟友と、女性へのほめ方の勉強会を企画したり男女交流会を年数回実施しており、数組がゴールインする成果を残しています。盟友数は、ほぼ横這いではあるものの、平均年齢は高くなっているのが現状であります。しかし、支店によっては、後継者または異業種を経験してからの新規就農者等の若手農家の青年部加入も順次進んでいます。新しい時代の農業・地域の発展を確立するため、青年部活動を通して組織の強化・活性化を図っていければと考えます。

#### ■パイオニア制度研修認定者

年度	氏 名	年度	氏 名	年度	氏 名
23	長谷川 清	25	石 川 幸 次	26	重 永 義 明
24	落 合 博 美	25	萩 原 豊 彦	27	小 窪 博
24	徳 永 幹 夫	25	日 高 嘉	27	市 瀬 勇 二
24	栗 原 一 峰	25	山 崎 進 郎	27	岩 切 孝
24	坂 本 敬 則	25	長 友 丈 治	27	富 永 厚一郎
24	福 田 光 洋	25	湯 地 秀 樹	27	斎 藤 充 功
24	西 岡 征志郎	26	大岩根 啓 史	29	福 井 正 彦
25	東 園 健一郎	26	中 村 宏 志		

## ■年間活動内容

期 日	項 目	内 容	場 所
3月	総会	J A 宮崎中央青年部通常代議員総会	JA・AZM
5月	地域貢献活動	食フェスタへの参加	生目の杜
8月	組織強化	ソフトボール大会	木花運動公園
9月	組織強化	青年大会	清武文化会館
10月	活性化活動	ミニバレーボール大会	生目の杜
11月	活性化活動	活性化研修会（講演会）	コア花ヶ島
12月	対話集会	J A 役職員との対話集会	宮崎支店
4月～1月	農業体験学習	農業体験学習 ・お米学習教室 ・農作業体験教室	各支店管内
6月～12月	組織強化	男女交流会	宮崎市内
8月～11月	地域貢献活動	てんぱる隊	各圃場
9月～10月	地域貢献活動	各支店農業祭への参加	各支店



青年部・J A 職員合同えれこっちゃん祭りへ参加 練習後集合写真



ワールドカフェ開催  
様々な意見が飛び交いました。



宮崎中央親善ソフトボール大会



青島太平洋マラソンへ参加



パートナー委員会主催による  
ほめ達勉強会



食農体験  
干し大根視察・作業等体験



活性化委員会主催による青年部交流会  
砂持ち上げ大会



食農体験  
ミニトマト収穫体験



活性化委員会主催によるICT・IOT・AI  
を活用した農業経営についての研修会



活性化委員会主催の  
ミニバレーボール大会



パートナー委員会主催による  
男女交流会

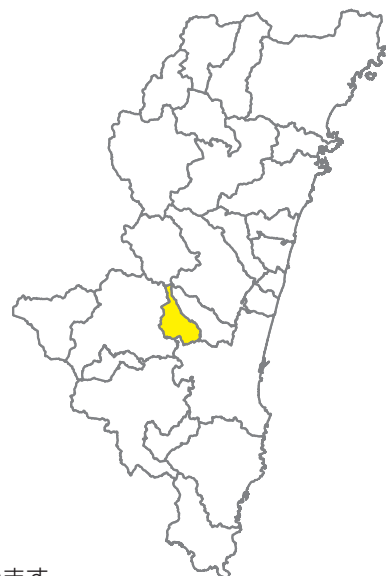


お米学習教室・農家の  
おじちゃんと語る会

## J A綾町青年部 綾町：40名

J A綾町青年部では、小学5年生を対象としたお米学習教室を実施しており児童自ら堆肥・肥料散布、田植え、稲刈り、お米販売までの生産から販売といった一連の流れや田植えの後に食べる「田植えだご」といった昔の食文化に触れてもらうといった食育活動を展開している。

その他には、地域住民との触れ合いを目的とした「綾もり市」に『J A綾町青年部特製カレー』の販売や青年部OBとのソフト交流試合と様々な活動を行っています。また、昨年より南九州大学の学生と取組む「食と農をキビリ隊」を青年部だけでなく女性部・フレッシュミズの方々と一緒になって取組んでいます。



部長 前田 清寿

宮崎県農協青年組織協議会結成60周年おめでとうございます。

先人の方々が築き上げ継続してきた青年組織。さらに私たちが、次世代へとしっかりバトンをつないで参ります！地域の実働部隊として地域に根差した活動や郷土を守るために前進します。そのためにも各地の盟友と絆を深め先輩方や各関係者と協同の力を最大限に活かしていきたいです。目指せ宮崎ブランドの更なる発展!! 綾町青年部は元気です。



お米学習教室田植え授業



出前授業風景



お米学習教室堆肥・肥料撒き授業

### ■パイオニア制度研修認定者

年度	氏 名	年度	氏 名	年度	氏 名
22	園 田 雄 一	25	花 田 健 二	25	上 村 英 輔
24	徳 弘 孝 一	25	日 高 辰 弥	28	押 田 貴 司
24	福 岡 学	25	小 田 誠		

■年間活動内容

期 日	項 目	内 容	場 所
5月、7月	食と農をキビリ隊	農産物収穫体験	盟友圃場
6月～10月	食育活動	お米学習教室	お米学習圃場
7月	綾町夏祭り		てるはドーム
8月	JA 綾町ふれあい夜市		Aコープ綾店
//	部門別研修会	園芸支部研修	J A綾町
9月	綾町花火大会		綾町体育館



第1回「食と農をキビリ隊」活動風景



第1回「食と農をキビリ隊」集合写真



第1回「食と農をキビリ隊」活動風景



第2回「食と農をキビリ隊」活動風景



第2回「食と農をキビリ隊」活動風景

## J A はまゆう青年部 日南市・串間市：120名

J A はまゆうは日南市、串間市(大東地区を除く)の二市に跨ります。

また、年間を通して温暖な気候が特徴です。また、管内では畜産(肉用牛・繁殖牛・養豚)、施設園芸(ピーマン・キュウリ・スイートピー・マンゴー・完熟きんかん)、超早場米、極早生みかん、甘藷、茶等の生産が盛んに行われています。

その他、水田ゴボウ、オクラ、スイートコーンなども生産が行われております。



部長 長渡 孝太

はまゆう農協は、平成12年にJ A 串間市と合併して現在のJ A はまゆうとなりました。

青年部についても合併するたびに支部を増やし、現在、日南・串間・北郷・南郷の4支部を基礎に活動しています。

私たちJ A はまゆう青年部は、お米学習・いも苗植え・収穫などの食農教育活動を展開し、また、農協主催の展示会では青年部活動PRも行っています。

また、作物別に勉強会、視察などを実施しており盟友同士の交流も行なっています。

今後も、食農教育活動を積極的に取り組み、食の安心・安全を少しでも子ども達と地域の方々に感じてもらえる活動を実施していきたいと思います。



極早生みかん 収穫体験



J A はまゆう青年部・女性部合同夏季研修会



J A はまゆう青年部・女性部合同夏季研修会

### ■パイオニア制度研修認定者

年度	氏 名	年度	氏 名	年度	氏 名
23	松 田 朋 和	24	元 水 望	29	山 下 美智雄
23	高 橋 久 男	25	松 浦 美 彰	29	徳 井 忠 明
24	渡 辺 誠	26	門 口 明 裕	29	河 野 嘉 彦
24	谷 口 博 祥	26	河 野 秀 章	29	浅 田 信 英
24	瀬治山 悟	26	山 口 雄一郎	29	荒 武 賢 人
24	弓 削 宜 弘	28	木佐貫 智 嗣	29	徳 井 忠 雄
24	本 田 友 和	28	倉 岡 康 浩	29	村 中 通
24	白 方 博 昭	29	長 渡 孝 太	29	倉 永 忠 文
24	河 野 健 一	29	小 坂 拓 也	29	蓑 毛 稔 浩

■年間活動内容

期 日	項 目	内 容	場 所
7 月	夏季研修会	役職員との対話集会	J Aはまゆう
4月～ 11 月	お米学習	田植え・稲刈り	各小学校
6 月・11 月	展示会	出店等	新みかん日南選果場
2 月	総会	活動報告他・収支決算	J Aはまゆう研修会館



お米学習教室



お米学習教室



展示会



ソフト大会 串間支部



パイオニア研修

## J A 串間市大束青年部 串間市：41名

J A串間市大束は串間市の旧大束村を範囲とし、温暖な気候を元にかんしょの一大産地として確立され「やまだいかんしょ」のネーミングで関西圏を中心に販売されています。平成15年からは香港への輸出を開始し、現在ではシンガポールや台湾、マカオなどに年間500tを輸出しています。また、金柑も年間650tの出荷があり、中でも11月から出荷が始まる早期出荷型金柑は400tと全体出荷量の60%以上を占め、県内トップの数量です。その他にもマンゴーや肉用牛、ゴボウ、茶など様々な品目が作付けされています。



部長 江藤 真哉

J A串間市大束青年部は総勢41名で、平均年齢は33歳と比較的若いメンバーで構成されています。10代から加入する盟友もあり、産地の維持・拡大に貢献しています。

専門部はかんしょ専門部・特産専門部・畜産専門部の3つがあり、各専門部から選出された10名により役員会が運営され、夏祭りやいも掘り大会、農家のおじちゃんと語る会など様々なイベントを企画し地域貢献活動を通して地域住民・消費者との交流を図っています。

その他、青年部の所有する圃場でかんしょの収量・品質の向上を目的に肥料・農薬の比較試験栽培も行い、自作圃場の施肥設計等の参考にしています。また、試験栽培以外にも販売用のかんしょも栽培して出荷することで150万円程度活動費を確保して研修旅行やレクリエーションの景品として使用しています。

2年に1度は役員研修をタイや香港など海外で行い、現地の消費動向や他産地農産物との比較などの市場調査を行い今後の農業経営の参考にしています。

当J A青年部は非常に仲が良く和気藹々とした雰囲気の特徴です。行事の度に飲み会を行う酒好きで賑やかな少数精鋭のメンバーが揃っています。

今後も一致団結して串間市大束を盛り上げて行きたいと思います。

### ■パイオニア制度研修認定者

年度	氏 名	年度	氏 名	年度	氏 名
22	井 上 貴 裕	26	野 邊 英 臣	27	深 江 孝 輔
22	清 本 春 樹	26	木 村 優 也	27	山 口 大 介
22	深 江 将 央	26	吉 田 俊 介	27	吉 田 秀 平
22	江 藤 義 和	26	吉 田 卓 矢	27	松 本 和 也
22	竹 原 英 智	26	星 田 浩 一	27	高 辻 竜 大
26	井 手 達 也	26	野見山 悠 貴	27	清 水 伸 也
26	谷 口 陽 亮	27	吉 田 明 広	27	柴 田 広 樹
26	清 本 祐 介	27	吉 田 傑	27	金 山 博 昭
26	花 田 拓 巳	27	川 崎 皇 陸	27	松 本 光 平

■年間活動内容

期 日	項 目	内 容	場 所
6 月	政策提言	J A職員との交流会	J A
7 月	農業体験	農家のおじちゃんと語る会	管内
8 月	地域貢献活動	夏季大会および夏祭り	J A
8 月	地域貢献活動	いも掘り大会	圃場
1 月	組織強化	レクリエーション	



いも掘り大会



いも掘り大会



青年の主張



ビール



おじちゃんと語る会 (牛)



夏祭り風景

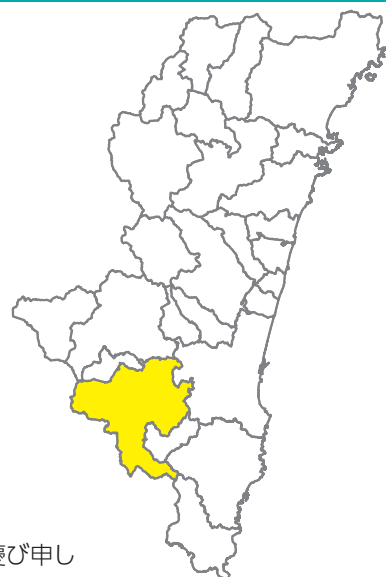


おじちゃんと語る会

## JA都城青年部 都城市：184名

JA都城は、宮崎県南西部にあり都城市と三股町からなり、西は霧島山地、東は鰐塚山地に囲まれた広大な盆地です。都城市は県内では2番目の人口を擁し、宮崎と鹿児島の間地点にあたる主要都市となっています。県境が鹿児島県に隣接しておりかつては薩摩藩領であったため、鹿児島弁に極めて近い諸県弁を話すなど、薩摩の文化を色濃く残しています。

管内の人口は19万人弱で南九州の中核地域となっています。気象は年間を通じて1日の最高気温と最低気温との格差が著しく、冬季の厳寒・夏季の暑熱は盆地特有の大陸型気候を呈しています。主な農畜産物は繁殖牛、肉用牛、生乳、肉豚、甘藷、きゅうり、お茶などで、畜産王国といわれる宮崎県のなかでも特に畜産の盛んなところ です。



部長 谷口 寿志

宮崎県農協青年組織協議会結成(設立)60周年にあたりお慶び申し

上げます。また、今までの青年部を支えてくださった諸先輩の皆様並びに関係者の皆様に感謝申し上げます。

私たちJA都城青年部は、13支部185名の盟友で日々活動を行っています。JA春季農業まつりでの牛串等の販売をはじめ、地元の幼保育園や小中学校の児童らを対象とした農業体験教室の開催、地域のカーブミラー清掃、都城焼肉カーニバルでのボランティア、児童養護施設の訪問など、農業の担い手として地域農業の振興を図るとともに、農業を通じて積極的に地域に根ざした社会貢献活動に取り組み食と農の理解醸成に努めて参りました。また、農業問題に関する学習を進め組織的な政策提言の積み上げを行うため、県南地区農業青年の集いとして盟友に呼びかけを行うなど、積極的な農政活動への参画にも取り組みました。

これからも、JA運動をはじめとして、地域住民とのふれあい、ボランティア活動、被災地支援など、JA青年部だからこそできる事に積極的に取り組み、また、仲間とともに組織の更なる強化を図って参ります。

今後ともご支援・ご協力を戴きますようお願い申し上げます。



JA都城 管内図



28年 ソフト県大会



30年 看板コンクール

### パイオニア制度研修認定者

年度	氏 名	年度	氏 名	年度	氏 名
24	松 山 龍 二	27	有 川 賢	27	紺 家 知 征
24	細山田 守 豊	27	稲 丸 善 人	27	谷 口 寿 志
24	釘 崎 貴 史				

■年間活動内容

期 日	項 目	内 容	場 所
3 月末 ～ 4 月初	営農振興・販促 農畜産物啓発活動	春季農業まつり青年部コーナー 牛串・せせり串の販売	家畜市場
5 月～ 11 月	農業体験教室 (食農教育活動)	農業体験教室（8 支部 1 1 活動） ・ 稲作体験教室 ・ 芋作体験教室 ・ 園芸体験教室	各支部内 幼保育園 小中学校
8 月末 ～ 9 月初	組織強化・ 活性化活動	ソフトボール大会	母智丘 多目的広場
10 月	地域貢献活動 営農振興活動	都城焼肉カーニバルへのボランティア参加	高城 観音池公園
12 月	地域貢献活動	児童養護施設との交流による地域貢献 農畜産物プレゼント贈呈	石井記念 有隣園
	組織強化・ 活性化活動	協同組合パイオニア研修会	J A 都城 本所
	地域づくり活動	手作り看板制作運動	支部 持ち回り
	地域づくり活動	支所（支店）での収穫祭などで 青年部 牛串等の販売 カーブミラー清掃など	支所（支店）
	組織強化・ 活性化活動	青年大会	J A 都城 本所



29年 カーブミラー清掃



30年 青年大会



29年 体験教室(稲刈り)



29年 体験教室(芋掘り)



30年 有隣園



30年 農業まつり



29年 体験教室(田植え)



29年 体験教室(芋植え) 五十市



30年 焼肉カーニバル



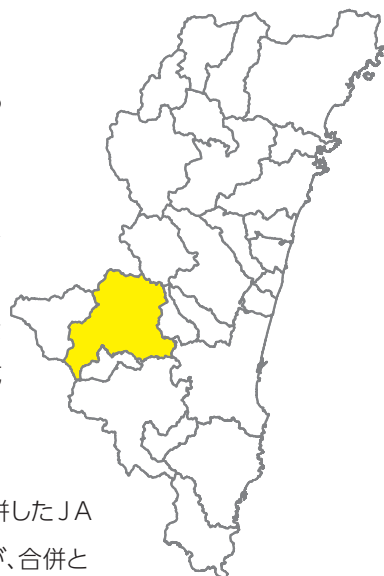
30年 パイオニア研修

## JAこばやし青年部 小林市・高原町：106名

本地域は、県の南西部にあって、北は九州山地をもって熊本県、南は霧島連山をもって鹿児島県と接し、大自然が生み出した多くの原生林と美しいきれいな水、四季に移り変わる樹木は南国の詩情をただよわせます。

気候は高台地のため、昼夜の温度格差が著しく、夏は暑く冬は冷え込む温暖内陸型で平均気温15.8度、年間平均降水量は、2,500mmに達します。

管内の耕地面積は6,888haで、土壌肥沃にして古くから農畜産物の宝庫として、畜産（肉用牛・酪農）を主軸に土物（里芋・こぼろ等）と施設園芸（メロン・ピーマン等）から成る純農村地帯です。



部長 瀬戸山 貴行

JAこばやしは、昭和49年に1市2町1村の単協が広域合併したJAです。合併前の青年部は、清壮年部として活動していましたが、合併と同時に青年部として新たに結成されました。現在は、小林4支部・高原1支部・野尻1支部にて活動しております。

主な活動を紹介しますと、和牛品評会・ソフトボール大会・役職員との対話集会・青年の主張発表大会・視察研修・食育活動などを行っております。和牛品評会は、盟友が審査を行い、序列を決め、お互いの飼育管理技術を競い合い技術向上に努めています。ソフトボール大会は、各支部の代表が参加し親睦を深めています。大会後の夜に役職員との対話集会を行い、活発な意見が出され、役職員との交流を深めています。地域の小学生に食育活動をととして、豊かな自然・農業の素晴らしさを伝えています。また、JAの展示会にて青年部のPR活動をお行っています。

農業を取り巻く環境は、年々厳しい状況にありますが、私達盟友一人ひとりが地域の『リーダー』『担い手』であることを認識し農業に取り組みたいです。



食育甘藷収穫



食育田植



食育脱穀



食育看板

### ■パイオニア制度研修認定者

年度	氏 名	年度	氏 名	年度	氏 名
24	大 山 雅 行	26	濱 崎 和 明	28	堀 隆 志
26	瀬戸山 貴 行	27	大 畑 修 一	29	土 居 義 信

## 年間活動内容

期 日	項 目	内 容	場 所
6～11月	食育活動	お米・甘藷体験学習	管内
6月	学習活動	全農ミートフーズ視察研修	福岡県
8月	親睦・連帯活動	親善ソフトボール大会	小林市
8月	提言活動	各支部地元役職員との意見交換会	管内
10月	学習活動	西諸農青協青年の主張大会	小林市
11月	食育・P R活動	餅つき体験学習教室（ふれあいフェスタ）	西諸畜連
12月	学習活動	和牛品評会	西諸畜連
12月	提言活動	役職員と盟友との対話集会	小林市
3月	P R活動	展示会出店（営農とくらしの展示会）	本所
隔年	学習活動	先進地視察研修	県外



和牛品評会



餅つき教室



親善ソフトボール大会



西諸青年の主張発表大会



J Aにじ青年部視察



展示会出店



役職員意見交換会

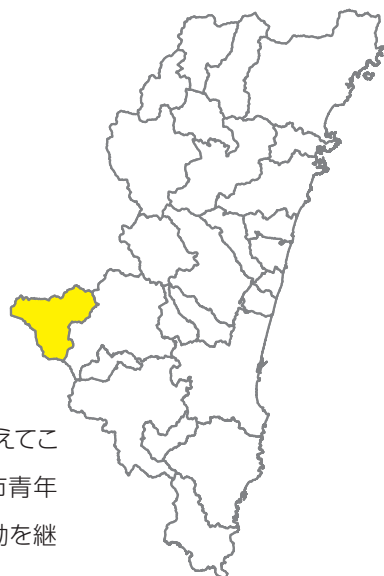


全農ミートフーズ視察研修

## ＪＡえびの市青年部 えびの市：７２名

「田の神さあ」が見守る郷、五穀豊穡をもたらす神として知られ、祭りも催されるなど田の神さあはえびの市のシンボルとして定着しています。

九州山地と霧島連山に囲まれた盆地に位置し、川内川上流より流れ出る良質な水と地力に優れた土壌により農作物の栽培に適し、この自然豊かな恵まれた環境の基、日本穀物検定協会2015年産、米の食味ランキングで特Aの評価を頂いた質・量ともに県内一を誇る“えびの米”の産地となっております。



部長 黒江 弘樹

宮崎県農青協60周年にあたり、これまで青年部活動を支えてこられた諸先輩方に感謝と御礼を申し上げます。ＪＡえびの市青年部は、現在72名の盟友で、先輩方が作り上げられてきた活動を継続しながら、特に食育活動に力を入れています。

今年は、硫黄山の噴火による河川の白濁により、水田の水稻作付けを断念した盟友もいました。管内の小学5年生にお米学習教室を開いていますが、噴火の影響により 学習田の変更などもありましたが、全校無事に収穫の秋を迎えます。

これから、異常気象による自然災害も多くなると思います。そんな時こそ、地域の子供たちに、農業の「大切さ」を伝え、将来の農業の為に私たちが地域の担い手として、えびのの農業・農地を守っていくため、これからも青年部盟友で力を合わせて、万一の際には助け合える組織作りと活動をしていきたいと思っています。



ＪＡ理事との意見交換会



お米学習教室（収穫祭）



全体会



納涼夏祭り



納涼夏祭り



お米学習教室（田植）

### ■パイオニア制度研修認定者

年度	氏 名	年度	氏 名	年度	氏 名
23	田 口 宏 明	23	角 井 智 仁	29	黒 江 弘 樹
23	津 留 聡	24	鬼 川 直 也	29	川 野 亮

■年間活動内容

期 日	項 目	内 容	場 所
5 月	食育活動	農家のおじちゃんと語る会	えびの市
6 月	食育活動	お米学習教室（田植）	えびの市
8 月	部会活動	フラワーアレンジメント教室	えびの市
11 月	食育活動	お米学習教室（稲刈）	えびの市
12 月	食育活動	お米学習教室（収穫祭）	えびの市



国会議員との意見交換会



フラワーアレンジメント教室



青年部総会



お米学習教室（稲刈）



お米学習教室（田植）

## J A児湯青年部 高鍋町・新富町・木城町：67名

当JAは宮崎県のほぼ中央に位置し、宮崎県の日向灘に面した高鍋町・新富町、九州山地が広がる木城町の3町からなり、管内では自然豊かな土地で早期水稻、施設野菜、露地野菜、果樹、畜産等の多種多様な農畜産物が豊富に生産されております。



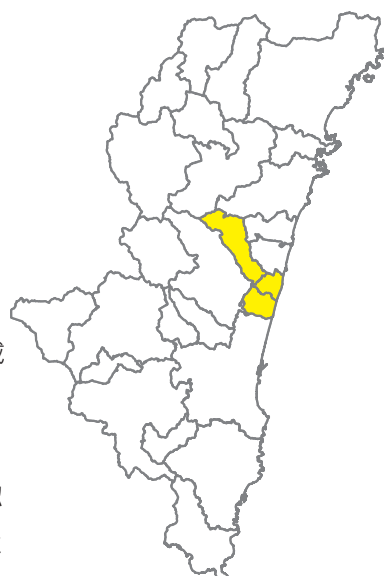
部長 前田 智宏

児湯農協青年部は、高鍋町、新富町、木城町でそれぞれ支部活動を行っており、地域の特色を生かしながら、JAと地域の一員として活動しています。平成29年度の組織発表では高鍋支部が県大会を勝ち進み、九州大会に出場しました。

また、当青年部の盟友が「ひなたGAP認証制度」の第一号認証者となる大変喜ばしい出来事もあり、県産農産物の安全性について後継者や新規就農者の若い世代が知識を共有することにより地域農業の発展に繋がるのではと考えております。

各支部の活動としましては各町の小学5年生を対象とした「お米学習教室」、「農家のおじちゃんと語る会」を毎年開催しており、地域のイベント等にも積極的に参加しております。

近年は農業者の高齢化、後継者不足等で農業に対する問題が山積みの状況ではありますが、将来の農業が明るくなるようJA、地域と共に盛り上げていきたいと考えております。



お米学習教室 稲刈り



お米学習教室 田植え



お米学習教室 餅つき



お米学習教室 稲の観察

### ■パイオニア制度研修認定者

年度	氏 名	年度	氏 名	年度	氏 名
24	福 山 望	24	梶 原 純 一	25	兵 藤 敏 光
24	永 友 康 一	24	永 友 富士男	25	中 村 幸 愛
24	比江島 隆 一	25	小 幡 善 哉	25	橋 口 正 和
24	分 林 裕 之	25	井 上 新太郎	29	前 田 智 宏

■年間活動内容

期 日	項 目	内 容	場 所
4 月	総 会	J A児湯青年部総会	J A児湯
4 月	お米学習教室	田植え	小学校学習田
5 月	お米学習教室	農家のおじちゃんと語る会	小学校
6 月	お米学習教室	稲の観察	小学校学習田
8 月	お米学習教室	稲刈り	小学校学習田
8 月	地域イベント参加	キャベツ畑のひまわり祭り	高鍋町染ヶ岡地区
9 月	県農青協ソフトボール大会	県農青協ソフトボール大会	木花運動公園
12 月	お米学習教室	餅つき・農家のおじちゃんと語る会	小学校



農家のおじちゃんと語る会



農家のおじちゃんと語る会



高鍋町 キャベツ畑のひまわり祭り



J A九州沖縄地区青年大会



県農青協ソフトボール大会



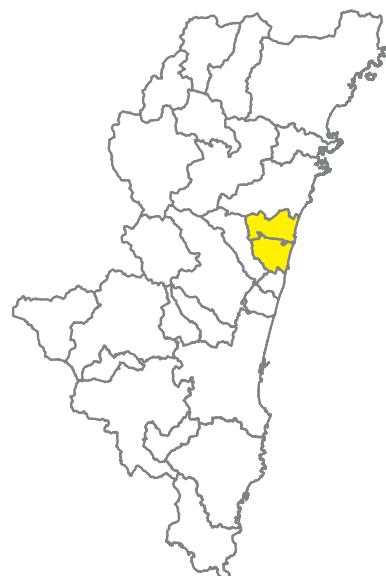
県農青協ソフトボール大会

## J A尾鈴青年部 川南町・都農町：80名

J A尾鈴がある川南町と都農町は、宮崎県央の日向灘沿いに位置し、西にはJAの名称の語源である尾鈴山を望み、東は黒潮流れる太平洋が広がる農業地帯で、第1次産業が元気な町です。

南国の太陽とみどりが育む尾鈴の大地からは、年間を通してさまざまな野菜やくだものが生産されるとともに、温暖な気候が好条件となり和牛や養豚を主とした畜産も盛んです。当地で生産された農畜産物は、県内はもとより全国各地に出荷されています。

川南町と都農町の両町には漁港があり海の幸も豊富で、都農の「うに」と川南の「金ふぐ」は特に有名です。また、地元で生産されたブドウで醸造する都農ワインは海外でも高い評価を受け、日向灘を一望できる都農ワイナリーでの販売期間中は大勢の購買客で賑っています。



部長 服部 雄索

J A宮崎県農青協が記念すべき結成60周年を迎えられたことに、心からお祝いとお慶び申し上げます。また、県農青協が発足して以来、諸先輩方が作り上げた輝かしい伝統が、今日まで脈々と引き継がれております事に敬意と感謝を申し上げます。

私達、J A尾鈴青年部は現在、盟友数80名で青年部活動をおこなっております。活動内容といたしましては、お米学習教室をはじめとする食育活動、高齢農業者を対象としたビニール張り受託作業のハルンジャー、地元で行われる祭りなどに参加して地域活動も行っています。

我々、J A尾鈴青年部は地域農業の担い手として、地元根ざした活動を通じて、地域農業の振興を図るとともに、社会貢献に努めていきたいと考えています。

また、県農青協の活動においても、諸先輩方が積み上げてきた60年の歴史を礎として、今後は我々が主役となり、これからの県農青協を盛り上げていく為、積極的に活動していきたいと考えています。

### ■パイオニア制度研修認定者

年度	氏 名	年度	氏 名	年度	氏 名
24	長 友 隆 幸	24	佐 光 剛	25	椎 木 祐 司
24	税 田 栄 作	24	稲 田 豊 幸	25	政 岡 義 久
24	永 友 雄 樹	25	鶴 輪 尚 幸	25	黒 木 俊 勝
24	間 野 雄 一	25	服 部 雄 索	25	武 本 栄 一
24	江 藤 宗 武	25	海 野 健	25	日 高 義 暢
24	壹 岐 哲 也	25	河 野 良 幸	26	河 野 和 樹
24	河 野 尚 範	25	斎 藤 嘉 喜	28	河 野 秀 俊
24	土 工 隆 博	25	井 上 潤一郎	28	阿 部 成 治
24	遠 藤 太 郎	25	小 高 勝 寿	28	河 野 裕 介
24	柳 川 勝 志	25	河 野 優 輔	28	河 野 真 一
24	菊 池 敬 典	25	牛 尾 光太郎	28	大 山 謙太郎

■年間活動内容

	項 目	内 容	場 所
	通常総会	J A尾鈴青年部通常総会	川南本所
	お米学習教室	田植え・稲刈り・農家のおじちゃんと語る会	管内小学校
	ふれあい活動	未婚盟友を対象とした婚活イベント	
	地域祭りへの参加	川南・都農で開催される祭りへの参加	管内
	ビニール張り受託作業	高齢者を対象とした、ビニール張り支援	管内
	尾鈴地区青年大会	青年の主張発表・研修	川南本所
	JA 農業祭への参加	JA 主催の農業祭・収穫祭での出展	管内
	JA 役員との交流会	JA 役員と青年部盟友との交流会	管内



ハルンジャー（ビニール張り受託作業）



お米学習教室（稲刈り）



都農神社夏祭り御みこし担ぎ



青年部総会



J A役員とのスポーツ交流会



ザ・フェスティバル・イン・トロントへの参加



農家のおじちゃんと語る会



お米学習教室（田植え）



小学生たちへ無人ヘリの実演説明



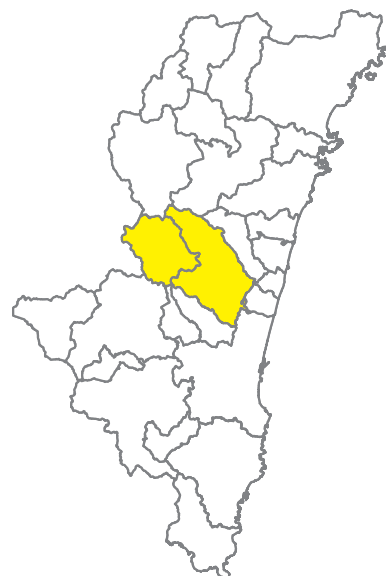
J A尾鈴農業祭り

## JA西都青年部 西都市・西米良村：172名

西都市は宮崎県のほぼ中央に位置し、車で宮崎市街地から約40分、宮崎空港から約50分のところにあります。かつては古代日向の都として栄え、「古事記」「日本書紀」に登場する伝承地が市内に数多く残るとともに、日本最大の311基の古墳が集まる国の特別史跡「西都原古墳群」や、天正遣欧少年使節の正史としてローマ法王に謁見した伊東マンショが誕生した国の史跡「都於郡城跡」があるなど歴史ロマンあふれるまちです。

また、平成30年5月には、文化庁の日本遺産に、西都市、宮崎市、新富町の2市1町が申請した「古代人のモニュメント-大地に絵を描く 南国宮崎の古墳景観」が認定されました。

現在は「市民との協同型社会づくり」を理念に掲げ、「元気な日本のふるさと“西都”」づくりを目指して、歩み続けています。



部長 緒方 吉成

宮崎県農青協60周年にあたり、今までの青年部を支えて下さった皆様に感謝申し上げます。

JA西都青年部は西都市内の平坦5支所と東米良・西米良地区を合わせた7地区により成り立っています。青年部の盟友数は年齢による退部などにより、年々減少している状況であり、現在172名となっています。自主的組織である青年部の本来の姿や活動意識が懸念される今こそ、協同の力を最大限に発揮できる青年部活動の必要性を強く説いていき、青年部加入推進を行っていききたいと思います。

また、来年度総代会より、組織総代枠が創設され、青年部の意向や要望をJA事業に反映させる機会を与えられました。

この与えられた機会を活用させて頂き、青年部活動をより活性化出来るように取り組んで参りたいと思います。

平成30年3月、西都の三納地区に新規就農者を育成するトレーニングセンターが完成しました。西都の施設園芸の基盤強化及び青年部盟友の増加に繋がっていければと期待しております。

最後に、青年部活動にご協力・ご支援・ご指導して下さる関係機関の皆様には心よりお礼を申し上げ、また、今後とも青年部活動に対しまして、変わらぬご支援を頂きます様宜しくお願い致します。

### ■パイオニア制度研修認定者

年度	氏 名	年度	氏 名	年度	氏 名
24	壹 岐 知 之	24	瀬 川 芳 一	25	関 谷 幸 夫
24	杉 尾 幸 治	24	田 爪 勉	25	柴 田 靖 広
24	浦 川 健 一	24	横 瀬 輔	25	緒 方 寿 行
24	河 野 和 広	24	尾 崎 一 雄	27	菊 池 行 紘
24	吉 野 史 人	25	横 山 弘	27	木 浦 泰 蔵
24	榎 本 眞 和	25	金 丸 哲 也	27	堀 田 智 大
24	日 高 利 伸	25	松 浦 淳 二	27	齊 藤 孝 博
24	中 山 敬	25	秋 鷹 伸 幸	27	杉 田 勇 二

■年間活動内容

期 日	項 目	内 容	場 所
4月	総会	JA 西都青年部通常総会	大会議室
5月	食農教育	地元小学生とのお米学習会	圃場
5月	食農教育	地元園児との甘藷植え	圃場
5月	後継者育成	青年部親睦ゴルフ大会	ゴルフ場
6月	農政活動	平成 30 年度 青年部合同学習会	大会議室
6月	地域貢献	2018JA 西都農業まつり	JA 西都
8月		各施設園芸農家へのビニール配送	JA 西都
9月	農政活動	看板コンテストへの出展	JA 西都
9月10月	農政活動	青年大会（市・県）	JA 西都
10月	農政活動	本部役員県外研修	関東
11月	農政活動	古墳祭りやぐら作り等	西都原
12月	後継者育成	ソフトバレー大会	市民体育館



農林水産省職員との意見交換会（県外研修）



地産地消・食育活動



青年部通常総会・青年部合同学習会



青年部ビニール配送・看板コンクール出展作品



ゴルフ・ソフトボール大会



農業まつりでの販売・古墳祭りやぐら設営

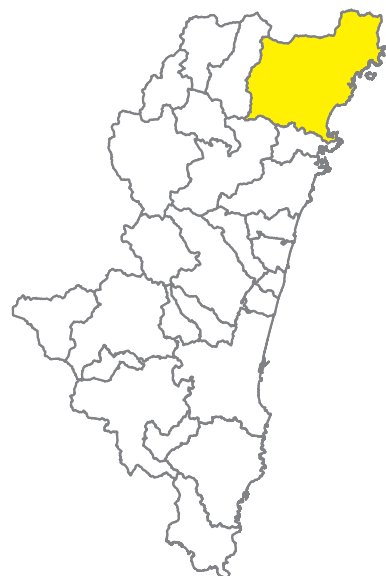


## J A 延岡青壮年部 延岡市：62名

延岡市は宮崎県の北東部に位置し、総面積が九州で2番目の広大な面積を有する都市です。また、工業集積地に農林水産業が加わり、多彩な産業を有するポテンシャルの高い街となっています。

自然環境は、1級河川が3本貫流していることもあり、大雨により冠水する農地がありますが、長い日照時間や温暖な気候、平野部から山間部と高低差のある地勢から、水稻を主体にたまねぎ・スナップエンドウ等の野菜、桃・栗・柿等の果樹、シキミ・スイートピー等の花き、茶・しいたけ等の特用作物が生産されています。

延岡の地域特性でもある少量多品目の栽培については、直売所のニーズに沿った栽培体系の研究や市内実需者とのマッチングによる地産地活を進める必要があると考えます。



部長 松田 成歳

宮崎県農協青年組織協議会結成60周年記念誌の発行にあたり、関係機関各位の皆様の暖かいご支援、御鞭撻に対し厚く御礼申し上げます。

J A 延岡青壮年部は現在62名の盟友が在籍しており、主な活動としては小学生を対象としたお米学習、地域住民を対象とした食育活動など地域に根ざした活動を重点的に行っています。

延岡の地域特性として小規模農家が半数以上を占め、総農家数は年々減少しており、更に、農業就業者人口のうち65歳以上が7割を占めていることなどが見受けられます。今後の課題として、青壮年部活動を通じて農業の魅力を発信し、次世代の担い手を増やして宮崎県農協青年組織協議会が盛大に100周年を迎えられるようにがんばります。



### ■パイオニア制度研修認定者

年度	氏 名	年度	氏 名	年度	氏 名
23	甲 斐 淳 一	26	佐々木 敬 一	29	田 口 正 幸

■年間活動内容

期 日	項 目	内 容	場 所
6月～11月	お米学習	田植え体験 収穫作業	各地区水田
7月～9月	ヘリ防除	水稻ヘリ防除	地区内水田
8月	軽トラ・ふれあい市	地産地消品即売会 青壮年部 PR 勧誘	JA 東海支店
8月	JA 常勤との意見交換会	JA 常勤と青壮年部との意見交換会	JA 本店
9月	ソフトボール大会	県内青壮年部親睦ソフトボール大会	県運動公園



川島小



無人ヘリ



対話集会

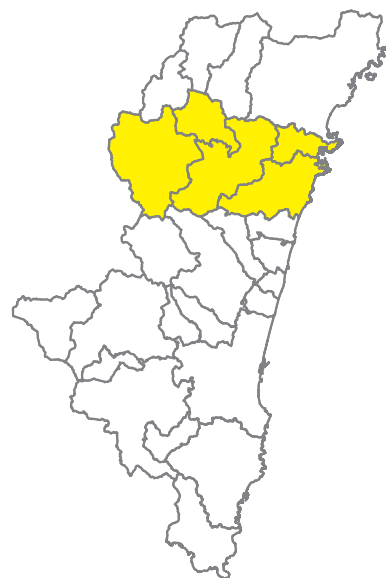


南小食事招待



## JA日向青壮年部 日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村：85名

日向地域は、宮崎県北部に位置し、日向灘を望む東部沿岸地から熊本県境に至るまでの1市2町2村で構成されています。海拔0m～1,000mの広域で水稻をはじめ、繁殖牛、ミニトマト、きゅうり、完熟マンゴー、完熟きんかん、へべすスイートピー、しきみ、椎茸など多品目にわたり豊かな自然に育まれた農産物が豊富に栽培されています。



部長 井本 孝博

JA日向青壮年部は、長年に渡り諸先輩方の礎を基に新技術の導入、規模拡大による先進的な経営の確立など、地域リーダー的存在だと感じています。これからの活動が今年、県農青協60周年の節目を迎えることで青壮年部の大切さを改めて感じています。現在の青壮年部活動は、小学

生を対象とした『お米学習』、『産業合同フェスタ』、その他イベントへの参加・協力等地域に根ざした活動に重点を置いています。こうした活動を行って行く中で、食への関心を高め、地元農産物の大切さが見直されています。しかし、TTP11・日欧EPA締結目前、飼料・資材の価格高騰など農業に取り巻く環境は、大変厳しいものとなっています。そこで青壮年部が一丸となって、この荒海に立ち向かい、今まで培って来た伝統・技術を後生に引き継がなければならないと考えています。最後に、私たちの活動をご協力頂いている関係各位の皆様には、心よりお礼を申し上げ、併せまして今後ともご支援賜りますよう宜しくお願い致します。



産業合同フェスタ



### ■パイオニア制度研修認定者

年度	氏 名	年度	氏 名	年度	氏 名
23	奈 須 利 幸	24	橋 口 昭太郎	25	黒 木 哲
23	海 野 大 輔	24	渡 辺 昌 二	27	佐 藤 茂 樹
23	奈 須 政 弘	24	早 瀬 政 彦	27	園 田 雄 己
24	園 田 通 夫	25	大 野 英 樹	27	安 田 靖
24	児 玉 寛 仁	25	黒 木 直 人	28	尾 形 正 輝

■年間活動内容

期 日	項 目	内 容	場 所
4月～12月	お米学習	田植から収穫までの作業	各支部
11月	産業フェスタ	出店販売	日向市駅前
随 時	食育体験	食育に関する活動	各支部

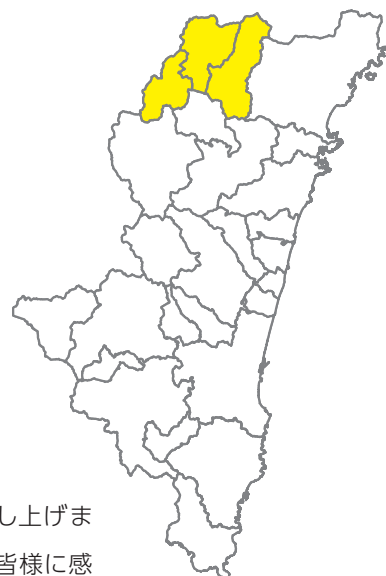


お米学習



ＪＡ高千穂地区は、「神話と伝統の町」高千穂町・「橋と渓谷と温泉の町」日之影町・「天然スキー場の町」五ヶ瀬町の３町からなります。この地区は標高２５０メートルから１，０００メートルの高冷地にあり、田畑が棚状に点在しています。この地形と気候を生かした野菜・果樹・花卉類の栽培が盛んです。

また、畜産も盛んに行われ、飼料の野草の刈り取りは民謡【刈干切唄】になっています。本地域の山間地農林業と伝統文化について、２０１５年１２月「高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム」として、世界農業遺産に認定されました。



部長 田邊 貴紀

宮崎県農青協結成６０周年を迎えるにあたりお慶び申し上げます。また、これまでの青年部を支えてくださった諸先輩の皆様感謝申し上げますと共に、この記念すべく節目の年に部長・県青協の委員として青年部活動に携わることができ、大変うれしく思っています。

私達、ＪＡ高千穂地区青年部は６支部２００名の盟友で活動を行っており、その中には畜産に特化した和牛専門部会もあります。活動内容としては、各支部ごとにお米学習教室や農家のおじちゃんと語る会、各種イベントへの参加、近年では高千穂牛の消費拡大と青年部のＰＲを兼ねた高千穂牛串焼きの販売も行っています。また、青年部が主催となったイベント「みさとわくわく市」は今年で１４回目を迎えます。

今後も私達青年部は活発な活動を通して、これからの中山間地域農業のリーダーという自覚を持ち、ＪＡと共に地域農業の振興のため、積極的な青年部活動を行っていきたいと思っています。



平成２８年８月９日 上野ふれあい夜市



平成２９年１２月８日 出前事業



平成２８年６月３日 お米学習教室



平成３０年４月２８日 こいのぼり

■パイオニア制度研修認定者

年度	氏 名	年度	氏 名	年度	氏 名
２２	甲 斐 郁 生	２７	甲 斐 雅 也	２７	飯 干 友 博
２５	田 邊 貴 紀	２７	後 藤 豊 和	２９	長 田 慎 司

## ■年間活動内容

期 日	項 目	内 容	場 所
3月	総会	J A高千穂地区青年部通常総代会	T A C
4月	地域貢献活動	こいのぼり	J A管内
5月	視察研修	和牛部会視察研修	沖縄県
6月	農業体験	お米学習教室（田植え）	青年部圃場
8月	活性化活動	上野ふれあい夜市	上野地区
10月	農業体験	お米学習教室（稲刈り）	青年部圃場
11月	農業体験	収穫祭	青年部圃場
11月	地域貢献活動	みさとわくわく市	T A C
12月	農業体験	おじちゃんと語る会	小学校
2月	地域貢献活動	節分豆まき	各地



平成28年2月3日 上野節分豆まき



平成26年11月9日 みさとわくわく市



平成28年10月20日 お米学習教室



平成29年3月 和牛部会視察研修 沖縄



平成26年9月18日 ソフトボール県大会優勝



平成29年11月 収穫祭